



行政書士本試験

合格

POINT 1 効率よく知識を身につける

長年の受験指導で積み重ねた「合格ノウハウ」が詰まったTACの基本講義。TACが誇る精鋭講師陣と洗練された教材により、効果的かつ着実に合格に必要な知識を身につけることができます。

POINT 2 早期のアウトプットで確実に知識を定着

TACの基本講義では、毎回ミニテストを実施し、理解度および知識の定着度をチェックします。インプット+アウトプットのサイクルを入門基礎期のなるべく早い段階から行うことにより、知識の定着と弱点分野の早期発見・克服を狙います。

POINT 3 解答テクニックをマスターする

出題が予想されるレベルで演習し、本試験における得点力をチェックしながら、すでに身につけている実力をさらに強固なものにしていきます。「問題の解き方」というプラスアルファの要素を講義に取り入れることによって本試験への対応力を高めます。

POINT 4 科目ごとの知識の定着度をチェック

各科目の基本講義を終えたところで、科目別の答案練習を行います。科目別に行うことにより、科目ごとの知識の総点検ができると同時に、自分の苦手分野が分かり、弱点克服に威力を発揮します。

POINT 5 記述対策に万全を期す！

本試験型の答案練習に入る前の最終調整として、記述式問題への取り組み方、思考方法を講義し、得点力アップを狙います。「記述式問題で何を書けばよいかわからない」という状況を打破し、満点を取れなくても部分点は取れるようにし、合格をより確実にしていきます。

POINT 6 5回分の本試験練習「わかっていたつもり」を「確実な知識」へ

本試験形式の答案練習を行うので、今まで学んだ知識を正確に答案に反映できるかどうかだけではなく、「どのような問題が狙われるか?」「問題を解く時間配分をどうするか?」といった実戦的スキルが身につきます。総合答練・公開模試については、答案を提出された方に成績表をお渡しいたしますので、全国数多くの受験生の中で、自分のレベルを知る最良のバロメーターとなります。

POINT 7 本試験を疑似体験！

公開模試は、TAC受講生のみならず、独学などで学習されている方も多く受験されます。さらにこれまでの本試験を徹底分析し、出題傾向を加味した問題を精選して出題します。そのため、非常に高いクオリティで全国レベルの実力が判定されますから、本試験前の実力確認と弱点の発見・補強に役立ちます。

POINT 8 多肢選択・記述式問題も徹底的にカバー

本試験で多肢選択式・40字記述式問題が出題される科目については、入門・基礎期のミニテストより多肢選択・記述対策を行います。さらに応用・直前期で実施する問題演習の機会でも随時取り入れているため、多肢選択・記述対策が自然に身につくと同時に特別な対策を心配する必要もありません。

合格後はTACの「実務講座」により行政書士の業務内容や独立開業に向けてのノウハウを学ぶことができます。
※詳細は2017年2月配付予定の「実務講座」パンフレットをご覧ください。